

# 即興的な (impromptu) 活動を取り入れた 授業の実例

原田 尚孝

(熊本県熊本市立北部中学校)

## 1. はじめに

2013年12月に文部科学省より「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が発表された。その中で、2016年度に学習指導要領が改訂され、2020年度より全面実施となることが示されている。中学校においては、「身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる力を養う」ことや「授業を英語で行うことを基本とする」ことが掲げられており、内容に踏み込んだ言語活動が重視されることになる。これからますます、即興 (impromptu) を意識した言語活動が重要なものとなる。本稿では、即興で行う「会話・やりとり・チャットの授業」の一例を紹介する。

## 2. 即興的な活動を取り入れた授業の実例

### (1) Classroom English の活用

日々の授業において、生徒とのコミュニケーションの手段として Classroom English が重要な役割を果たす。私は2001年の海外研修で、イギリスのある Grammar School を訪問し、授業を参観する機会を得た。それらの授業の中から、教師が使う Classroom English を記録し、自分の授業でも使っている。以下はその例である。

#### 【私語を注意する】

- ・ Keep the talking down.
- ・ What was the last word I said? Quiet!
- ・ I need absolutely perfect silence.
- ・ Music has to start with silence and has to finish with silence. (音楽の授業)

#### 【質問を受ける】

- ・ Are there any questions to begin with?

- ・ Any questions?

#### 【授業中の指示・声かけ】

- ・ Are you listening? ・ Very important!
- ・ Quick!
- ・ Underline it! ・ Let me help you.
- ・ (いくつか例を示したあとに) Do the others.
- ・ Simple question! Should have more hands than that!
- ・ Do number 110. ・ Put your pen down.
- ・ As soon as possible, please.
- ・ Just do exactly what you were told.
- ・ Somebody, tell me.
- ・ Did anyone get it right (wrong)?
- ・ Do not use the ruler. Draw free-hand. (美術の授業)
- ・ Press them forward now. (テスト用紙を後ろから前に回しなさい)
- ・ Finish the one you are doing.

#### 【誉める】

- ・ Absolutely correct (right).
- ・ It's perfectly all right. ・ Excellent.
- さらに私の場合、現在完了や関係代名詞などは、未習であっても積極的に使うようにしている。
- ・ We have just finished No.1. Let's go to No. 2.
- ・ Are there any words that you don't know? また、生徒指導上の注意等も英語で行う。
- ・ When you finish writing, please put your pencil down on the desk and look up (look at me).
- ・ You don't need to talk now. You have to listen!

このように、教師が普通の授業の中で自然な形で理解可能な英語を多量にインプットする。生徒はそれらを聞き、最初は類推し、くり返し聞くことで何を言われているのかがわかるようになる。

## (2) Free Conversation

日常的によく使う英語表現を一覧表にして4月の最初の授業で生徒に配布する。その一覧表を使って、Free Conversationの活動を行っている。やり方は、教師が発問し、生徒が挙手か、あるいは教師の指名により答えるというものである。この活動のねらいは、重要文型の定着を図り、コミュニケーション能力の基礎・基本を育成することである。毎時間の授業の始めにwarm upとしてくり返すことで、テンポよくスムーズに行うことができるようになる。以下はその一部である。

T: What time did you go to bed last night?

S1: I went to bed at 11 o'clock.

T: What time did you get up this morning?

S1: I got up at 6 o'clock.

T: How long did S1 sleep last night?

S2: She slept for 7 hours.

T: What are you going to do tonight?

S3: I will study hard because I have a test tomorrow.

発展例として、1人の生徒に次々に質問をすることで、定型会話から即興的な会話へと移行する。以下がその例である。

T: What did you do last night?

S: I went to a Japanese restaurant with my family.

T: What did you eat there?

S: I ate うなぎ.

T: Oh, you ate うなぎ! Do you like うなぎ?

S: Yes.

T: Great! Me, too. How do you say 'うなぎ' in English? Does anyone know? It's an eel. (クラス全員に向けて) Do you like grilled eel?

## (3) Pair Work

A: What are you going to do this weekend?

B: I ( ) . + a (関連する1文)

まずBになったつもりで、週末の自分の予定を考える。文のつながりを重視するという観点から、その後に関連する1文を加える。それらをペアで練習する。以下に実際の対話例を示す。下線部が+aの部分である。

S1: What are you going to do this weekend?

S2: I'm going to go shopping with friends. I will buy a new bag. What are you going to do this weekend?

S1: I'm going to play soccer with my brother. Playing soccer is fun.

次にこの2人の会話の内容を教師が他の生徒に尋ね、確認する。これにより、他の生徒も友達の発言内容を真剣に聞く習慣ができる。

T: What is S2 going to do this weekend, S3?

S3: She is going to go shopping. She is going to buy a new bag.

T: That's right. Very good. Then, what is S1 going to do this weekend, S4?

S4: He's going to play soccer with his brother. He thinks that playing soccer is fun.

私の場合、月曜日の授業で「先週の土日にやったこと」を、金曜日に「今度の週末にやること」を尋ねるようにしている。

## 3. おわりに

即興の活動を行うことは、「コミュニケーション能力の基礎・基本を習得し、活用して表現力を育成することができる」、「生徒にとっても身近なことが話題となり、積極的に話したり、聞こうとする姿勢ができる」というメリットがあると考えられる。もちろん、その場合の授業の大前提として、生徒と教師、生徒相互の良好な人間関係を構築することが重要となる。